

会報

冬
No.172

2016.1

一般社団法人北海道電業協会



目 次

年頭ごあいさつ	
国土交通省 北海道開発局 営繕部長 清 水 侯 二	1
平成28年の新春を迎えて	
(一社) 北海道電業協会 会長 大 房 孝 宏	2
法人職務執行者就任ご挨拶	3
平成27年度経営者懇談会・セミナー	4
平成27年度経営者懇談会	5
平成27年度登録電気工事基幹技能者認定講習会	6
平成27年度北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会	7
平成27年度「公共建築の日」イベント	8
新春余話「札幌でリーチ マイケル氏を迎え」	9
(ラグビーワールドカップ2015 日本代表主将)	
(一社) 日本電設工業協会 平成27年度 会員大会特集	10～14
「建設産業ふれあい展」出展のお知らせ	15
ーシリーズー 1 / 212 だより	
・流水と大地の恵みを活かし人が輝き躍動するまち～紋別市～	
紋別市長 宮 川 良 一	16～17
ーシリーズー 1 / 212 だより	
・北海道新幹線・新函館北斗駅から未来の北斗市づくりを～北斗市～	
北斗市長 高 谷 寿 峰	18～19
電気設備施設見学会	20
ーシリーズー 「私のいちおし」	
(株)関電工北海道支社長 太刀川 雅弘	21
現場からこんにちは	22
分離発注促進活動訪問記	23
厚生委員会行事報告	
歌唱部会	24
ボウリング部会	25
ゴルフ部会	26
野球部会	27
業界だより、理事会・委員会報告	28～30
事務局日誌	31
編集後記	



年頭ごあいさつ

国土交通省 北海道開発局

営繕部長 清水 侯 二 (しみず こうじ)

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人北海道電業協会の皆様には、国土交通省における北海道開発行政、とりわけ官庁営繕行政の推進にあたり、平素よりご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

北海道開発局営繕部では、道内に所在する官庁施設（国の建築物）の整備と、これら官庁施設が常に適正な機能・性能を維持できるよう国の出先機関に対し保全指導を行うなど、官庁施設に関する指導・監督を行っております。官庁施設については、老朽化した施設が今後増大していく中、既存施設の最大限の活用を図りつつ、災害に対する国民の安全・安心の確保等に的確に対応することが求められております。このため、平成28年度の官庁営繕概算要求にあたっては、防災・減災対策を推進するため防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等を図ることや官庁施設の老朽化対策等を推進することに重点をおいております。

防災・減災対策としては、官庁施設の耐震化を進めるとともに、地域と連携した防災拠点となる官庁施設の整備、新たなまちづくり空間やにぎわいの創出等により、地域の活性化に積極的に貢献することとしております。

老朽化対策としては、インフラ長寿命化基本計画において、戦略的な維持管理・更新を行うことが重要とされており、既存官庁施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減等を実現する

ため、ハード対策、ソフト対策の両面から官庁施設の長寿命化を図ることとしております。

防災・減災対策の観点から、災害応急対策活動にあたっては電力の確保が必要であり、その施工を担う立場から、電気設備関係の企業・技術者の役割は重要となっております。また、長寿命化という観点からは、修繕・改修工事を実施するにあたり、新築とは異なる技術力やマネジメント能力が求められますので、皆様の持てる力を一層発揮していただくことを期待しております。

また、改正品確法が平成26年6月に施行され、公共工事の発注者は、公共工事の品質確保の担い手の中長期的な育成及び確保に配慮しつつ、発注関係事務を適切に実施することが求められております。北海道開発局営繕部としても、公共建築における円滑な施工確保対策については重要課題として取り組んでいるところであり、公共建築相談窓口を通じた対応を行うとともに、工事の発注にあたっては、見積活用方式の活用、工事の実績要件等の緩和、書類の簡素化などに取り組んでおります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、北海道の将来にとって希望の年となりますよう祈念するとともに、皆様の更なるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成28年の新春を迎えて

一般社団法人 北海道電業協会

会長 大房 孝 宏

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、著しく変化する社会情勢下ではありますが、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内の景気回復によって建設需要が高まりを見せた中で、資機材の高騰や労務費のアップに加え、現場の技能者不足や将来の担い手が確保できない等、私ども電気設備工事業界が潜在的に抱えてきた脆弱な面が表れた1年でもありました。

一方、昨年10月には、9年ぶりに札幌市で開催された（一社）日本電設工業協会会員大会とその関連行事を無事成功裏に終了させることができました。これもひとえに会員の皆さま方が準備段階から当日の運営に至るまで大変なご尽力をいただいた賜物と改めて感謝申し上げます。

さて、道内の景気の先行きは、個人消費や民間設備投資の増加等により緩やかな持ち直しが期待されておりますが、建設業界を取り巻く事業環境は、公共工事の減少やマンションの傾斜問題等を背景に引き続き厳しさが予想されています。こうした状況の中で、当協会は、次に掲げる4つを重点目標に事業展開をしております。一つ目は、人手不足と技術・技能の継承への対応です。インターンシップ推進助成金制度の活用や技術系学校の先生、生徒との繋がりを進めて若年層の受入れ促進に努めるとともに、技術講習会の充実と合わせて昨年から実技講習会を開催しております。会員の皆様には是非参加して頂きたいと思っております。二つ目は、分離発注の推進です。分離発注は、顧客との直接対話を通じて電気設備工事の品質確保やライフサイクルコストの低減を達成でき、顧客に透明かつ満足度の高いサービスを提供できる最も合理的な発注方式ですので、道内地区電業協会とも連携して分離発注の推進運動を展開してまい

ります。三つ目は、適正な価格と適正な工期での受注の確保です。電気設備工事は建築工程に大きく左右され、工期が遅れると、そのしわ寄せを全部私ども設備工事業者が背負うこととなります。その結果、品質と安全面の確保に大変なリスクを負うことになるため、技能職をたくさん急に集めるということになると、原価がかさみ、経営的にも問題が出てきます。改正品確法に発注者の責務として「予定価格の適正な設定」や「適切な工期設定」について明記されたことから、今後、発注公共機関に徹底して頂くよう我々が努力してまいります。四つ目は、電力を巡る課題です。泊原子力発電所の停止に伴い、電力供給が非常に不安定になっています。また火力に電源がシフトすることにより電力料金は今日のように高止まりになっています。我々は引き続き省エネや再生可能エネルギーの活用を進め、低炭素社会の実現に向けて努力してまいります。また、今年4月からは電力小売りの自由化が始まりますし、2020年には発送電分離を柱とする電力システム改革が行われますので、今後ともこうした動向をしっかりと見定め、電気設備工事業界として対応を考えてまいります。

申し上げるまでもなく、我々電気設備工事業界には、電気設備の設置とその保守管理などを通じて、北海道の産業・経済や道民生活に直結するライフラインを担い、顧客に対しては良質な設備を提供するという重大な使命があります。我々はその使命を全うする上で、これらを活動目標に、会員一丸となって知恵を出し、力を合わせて「夢と生きがいのある電気設備工事業界」を目指して諸課題に挑戦していきましょう。結びに、皆様のご健勝を心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

就任ご挨拶



日本電設工業(株)
北海道支店
執行役員支店長

大 東 勝 広

新春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ます。

平素は、協会並びに会員の皆様には格別のご高配をいただき、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

この度、昨年10月1日付で、前支店長野本徳明の後任として北海道支店長に就任いたしました大東勝広でございます。

弊社は、昭和17年に鉄道電気工業株式会社として設立し、昭和24年に現社名となっております。北海道地域には、会社設立と同時に札幌出張所が開所され、昭和19年に札幌支店に昇格して鉄道電気工事専門の会社としてスタートいたしました。

今では、鉄道電気工事、一般電気工事および情報通信工事等を中心に全国展開している総合設備工事会社であり、鉄道交通インフラのリーディングカンパニーとして安全最優先の工事により、社会に貢献できる企業を目指しております。

私事ではありますが、生まれも育ちも北海道で、昭和55年の入社以来ほとんどを北海道支店での勤務にて、主に一般電気工事の施工管理を行っておりました。経営や営業に不慣れが多く、心もとない若輩ではありますが、皆様のご指導・ご鞭撻をいただきながら、協会ならびに業界の発展に尽くす所存でございますので、前任者同様よろしくお願い申し上げます。

道内は厳しい経済環境下ではありますが、明るく前向きに取り組み、北海道の発展のために少しでも寄与できればと思い努めてまいります。

最後になりますが、当協会の益々の発展と会員皆様のご清栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



平成27年度経営者懇談会・セミナー



平成27年11月9日(月)13時30分から札幌グランドホテルで「平成27年度経営者懇談会・セミナー」を開催し、会員代表者など59名が聴講した。

はじめに、大房会長が挨拶し電気設備工事業を取り巻く事業環境にふれた後「本日のセミナーでは、『安心・安全な現場・職場づくりに欠かせない!』心をつなぎ、絆を結ぶコミュニケーション実践法〜と題して、(株)建設経営サービスの森川あやこ講師をお招きしております。経営のトップにおられる方々が、働く方々のより安全・安心な職場環境を作っていただく際の一助となればと考えておりますので熱心にご聴講をお願いします」と述べた。



森川講師

【森川 あやこ講師プロフィール】

高校在学中にTVドラマのオーディションでグランプリとフォトジェニック賞をW受賞した元女優。芸能界引退後、人材関連業界勤務を経た後、大手コールセンターで社内2,000人の電話オペレーターの中から対応品質、顧客解約阻止率トップ賞をW受賞。現在はOfficeアイムの代表。

(株)日経コンサルタント所属講師

経営セミナーの概要

職場内ではちょっとした伝達ミスから起こる聞き間違い、勘違い、思い込みによって大きな事故や危険につながる可能性があります。取引先、従業員一人ひとりが心をつなぎ、協力して作業能力を高めていくためにも現場の円滑な人間関係を築き上げていくことと、抜けやもれのない速やかな情報の伝達、確認、わかりやすい指示の出し方等「伝わるコミュニケーション」が安心・安全な現場・職場づくりに欠かせません。職場内・現場内をスムーズにするためのコミュニケーションのポイントを紹介します。

- ・挨拶は自分から行う。
- ・笑顔でイキイキとした表情で接する。
- ・速やかな情報共有を行う。
- ・互いにやる気を引き出さず言葉かけ、声かけを日々行う。
- ・常に互いの状況を確認しあう。
- ・正確でわかりやすい指示、伝え方を工夫する。
- ・わかったつもり、わかっているだろう!を捨ててしっかり理解度を確認しあう。
- ・礼を重んじた上での会話・対話を心がける。
- ・ルール・約束・期限・時間を守る。
- ・聴いたことを忘れないための工夫を行う。

平成27年度経営者懇談会



平成27年11月9日(月)経営セミナーに引き続き「平成27年度経営者懇談会」を会員代表者など41名が参加して開催された。

懇談会については、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として開催している。



大房会長

はじめに大房会長から「今一番の課題となっている人材不足の解消と技術・技能の継承にどう取り組んでいくかは、電設業界全体の喫緊の課題であり取り組まなければならない。今月からいよいよ当協会でも従前の座学だけではなく、実技指導等も含めた講習会を実施するので是非活用をお願いしたい」また「来年4月からは電力小売の全面自由化が始まる。その後は電力システム改革も行われる。これらは我々業界や顧客がどのような影響を受けるのかをしっかりと見定め、必要に応じて顧客への提案など、電設業界として貢献していきたいと考えている」と挨拶された。

はじめに大房会長から「今一番の課題となっている人材不足の解消と技術・技能の継承にどう取り組んでいくかは、電設業界全体の喫緊の課題であり取り組まなければならない。

今月からいよいよ当

つづいて、小川専務理事の司会で議事進行となった。(議事次第参照のとおり)



【平成27年度経営者懇談会次第】

1. 北海道開発局営繕部との意見交換会の開催概要について
2. 平成27年度会員大会決議事項等について
3. 平成27年度会員大会の開催準備状況について
4. 各地区協会の活動近況報告
5. 協会事業に対する意見・要望事項



小川専務理事

懇談会終了後は、交流会となり会員相互和やかに親睦を図った。

平成27年度登録電気工事基幹技能者認定講習会



平成27年10月24日(土)～10月25日(日)の2日間、北海道電気会館において平成27年度登録電気工事基幹技能者認定講習会が開催され、全道から35名が受講した。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(一社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会である。

合格者の公的評価は、受講条件として第一種電気工事士の資格取得者としているためにZ点評価(経営事項審査の中で技術力を評価する項目)は第一種電気工事士で2点、登録電気工事基幹技能者資格で1点の加点となる。

最初に当協会の小川専務理事から「現場では施工方法の実情に精通し作業管理や調整能力を持ち、他の職長と連絡・調整を担う役割が大切です。このため技術者を適切に指導・統率できる登録電気工事基幹技能者の確保と育成が必要である。講習会を通じて施工管理などの知識を十分に理解し、最終日の試験には全員合格して欲しい」と挨拶された。

認定講習会は、全国一斉に行われ当協会の認定講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義した。受講者は資格取得に向け真剣に取り組み、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。

開講挨拶 小川専務

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (一社)北海道電業協会専務理事
小川孝樹
2. 電気工事基幹技能者の在り方等
電気工事における新材料・新工法等
中村淳一氏
(北海電気工事(株) 電設工事部部長代理)
3. OJT教育
澤田博氏
(三共電気工業(株) 常務取締役工務部長)
4. 施工管理・事務管理・工程管理・原価管理
内山優氏
(株)北弘電社 技術部担当部長)
5. 資材管理・安全管理・労務管理
宮森慎一氏
(拓北電業(株) 取締役工事本部長)
6. 品質管理・環境管理
小川恒明氏
(協信電気工業(株) 取締役工務部長)



澤田講師



内山講師



開講挨拶 小川専務



中村講師



宮森講師



小川講師

平成27年度北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



平成27年10月26日(月)14時から北海道設備会館において、当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会との共催(電気・空衛連絡協議会)で、北海道開発局営繕部の清水侯二部長をはじめ9名の幹部の方々のご出席をいただき意見交換会を実施した。

当協会からは大房孝宏会長他11名、北海道空調衛生工事業協会からは池田薫会長他10名が出席した。

開発局営繕部からは、公共工事の品質確保に関する法律の一部改正、総合評価落札方式の修正点、円滑な施工体制確保の取組み等について説明があった。この後、協会から①分離発注の継続のお願い②安定的な工事量の確保についての2項目を要望した。これに対し営繕部から①について「施工責任、工事に係るコストの明確化が図られ、施工事業者の育成に資するもので従来から実施しているところ。工事内容の規模や地域等の諸条件を勘案しながら推進して行く」②について「官庁施設の整備は、老朽化した施設が今後も増加していく中、既存施設の有効利用を図りつつ、国民

の安心・安全の確保などに適確に進めて行くことが重要である。また防災拠点となる官庁施設の防災機能などを図ることや、施設の長寿命化の推進に重点を置き、メリハリのある予算要求・確保に努めていきたい」とそれぞれ回答をいただいた。

【議 題】

1. 平成27年度開発局営繕事業の概要
2. 公共工事の品質確保に関する法律の一部を改正する法律
3. 営繕部における総合評価落札方式(修正点)
4. 営繕部における円滑な施工体制確保の取組み
 - (1) 営繕工事請負契約における設計変更ガイドライン
 - (2) 発注の見通し
 - (3) 発注情報お知らせメール
 - (4) 営繕積算方式活用マニュアル
 - (5) 工事書類の簡素化
5. 要望事項
(以下省略)



北海道開発局幹部のみなさん

【発注情報お知らせメール配信開始】

営繕工事の発注見通し(入札公告)が更新されたことをお知らせするメール配信サービスを開始しました。ホームページより登録して下さい。

開発局HP <http://www.hkd.mlit.go.jp/10.html>

開発局HP⇒官庁営繕⇒発注情報お知らせメール登録

平成27年度「公共建築の日」イベント

「公共建築の日」フェスティバル2015 in モエレ



このイベントは、北海道開発局が主催し北海道、札幌市、各自治体や当協会など各種団体が後援するもので、生活に密接に関わっている公共建築が果たしている役割などを、子供から大人まで幅広い市民層を対象に参加型イベントを複合的に開催する事で、公共建築に理解と関心を持ってもらう事を目的として毎年開催されています。

当協会から4名のスタッフが、10月17日(土)に開催された「ものづくりたいけんコーナー」に参加しました。このコーナーは、コンセントの延長コード作りと、電線を使って昆虫やメガネなどを自由に作ってもらい、持ち帰ってもらう事で、子供たちに建築設備に少しでも興味をもってもらうことを目的に実施しています。

また、参加型イベントとして「ダンボールしー」では、家庭ではできない大きな建物づくりを行うことで、作成の楽しさから建物にも興味をもってもらうことを目的として、開発局が担当して実施しています。

【開催日時】 平成27年10月17日(土)

【場 所】 札幌市東区モエレ沼公園
ガラスのピラミッド内

【参加スタッフ】

(株)北弘電社

・内川 勝哉 ・十日市 樹

北海電気工事(株)

・越智 泰之 ・前田 達郎





札幌でリーチ マイケル氏を迎え

(ラグビーワールドカップ2015 日本代表主将)

11月4日(水)に、リーチ マイケル主将が、日本全体を驚かした南アフリカ戦を始め3勝をしたラグビーワールドカップ2015以降初めて、奥さん・愛娘と一緒に札幌に帰ってきました。

札幌山の手高校在学時代下宿をしていた「七福寿し」で、日本のお父さん・お母さんと慕う店の大将夫妻、恩師の佐藤幹夫先生他から大歓迎を受けました。私(萩本広報委員長)も参加させていただきました。歓迎会はおしのびの筈が、どこから聞きつけたのか、4台のTVカメラと数社のスポーツ紙の取材陣も登場し、大騒ぎになりました。その合間を見ながら、飲みながらの私との会話などで彼の人となり、少しご紹介します。

「私は生きている間に、世界の3強(ニュージーランド・オーストラリア・南ア)に日本代表が勝利する試合を見れるとは思っていませんでした。南ア戦の勝利、感動しました」

「ありがとうございます。楽しかったです」

「どうしても、聞きたいのですが、南ア戦終了間際29対32の状況下、ゴール前で相手が反則したとき、エディー・ジョーンズHCはPK(3点)で同点引き分けを狙えと指示したと報道されていますが、マイケルの耳に聞こえていたのですか」

「ショット(注:PKの意味)と、はっきり」

「それでも、スクラムを選択し、トライ(5点)を狙ったのですか」

「グラウンドにいる15人が、『勝利で歴史を変える』という、気持ちを出していたので」

「今回、札幌には何日滞在されるのですか」

「3泊します。札幌山の手高校に行く他、市・道への表敬訪問等する予定です」

「その間のトレーニングはどうします」

「ジムのついているホテルに泊まるので、そこで汗を流します」

「次の試合の予定は」



ビールを前にくつろぐマイケル

「11月14日(土)に、トップリーグの試合(東芝vsクボタ)です。CSで放送しますので見てください」

「北海道の人に一言お願いします」

「2019年には、次のラグビーのワールドカップが日本で開催されます。札幌ドームでも、試合が行われることが決定していますので、それに向けて皆さんの応援をお願いします」

折角リラックスしたい時間でありながら、マスコミには丁寧に対応しており、ラグビー人気を定着させたい気持ちが窺えました。また、たまたま来店していたお客のサインの依頼には、日本語で話すことと違い苦手な相手の名前等も時間をかけながら、丁寧にサインに添え書きしていました。彼の気持ちが通じ、ラグビーブームが一時のブームでなく、2019年まで続くことを期待します。

【補 足】

- ① 11月6日(金)に秋元札幌市長から札幌市長特別表彰の授与がありました。
- ② 「七福寿し」は札幌市中央区北3条西2丁目老舗のすし屋さんです。幸運な人はマイケルと会えるかも。ランチもやっています。

(一社) 日本電設工業協会 平成27年度 会員大会特集



◇平成27年10月1日(木) 於：札幌グランドホテル

(一社) 日本電設工業協会が毎年開催している会員大会が、平成27年度は北海道支部の担当で10月1日(木)札幌グランドホテルにおいて全国から400名超の参加を得て、開催された。



山口会長

冒頭のあいさつで山口学会長は、当協会を取り巻く最近の情勢に触れながら「5年先10年先を見据えた対応が不可欠。そのため解決しなければならない課題として三点挙げた①人手不足、技術者確保、技術・技能の継承、高齢者、女性の活用を進めどうしても足りない時には外国人雇用の検討②改正品確法の運用指針の中で電気設備工事について分離発注を明記してもらった。公共事業だけでなく民間工事でもその優位性の浸透を推進する③高品質な電気設備を供給するため、適正な価格・適正な工期での受注確保が重要として、改正品確法で設計図書における施工条件の明示と適切な設計図書の変更等が明確化された。この理念を発注者すべてに浸透させる努力が

重要である」と呼びかけた。

引き続き、ご来賓の国土交通省北海道開発局長の本田幸一様、北海道知事 高橋はるみ様の代理として副知事の辻泰弘様、札幌市長の秋元克広様よりそれぞれご祝辞をいただいた。

その後、基調報告として、経営企画委員長の門間俊道氏(振興電気(株)代表取締役社長)から「適正工期の確保に向けて」また当協会の西山智氏(西山坂田電気(株)取締役経営企画室長)から「雪を味方に付ける両面発電型太陽光パネルを採用した克雪型ソーラー発電所」と題してそれぞれ報告がされた。

また大会決議事項として①「優秀な人材の確保と技術・技能の継承」②「適正な価格・適正な工期での受注の確保」③「分離発注の推進」④「省



本田局長



辻副知事



秋元市長



エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用」の4項目を満場一致で採択し会員大会が終了した。

その後プロスキーヤーで冒険家の三浦雄一郎氏による「いつまでも挑戦する心と体～80歳エベレスト登頂～」と題した記念講演会と会員大会懇親会が開催された。

懇親会では最初に大房孝宏北海道支部長の歓迎挨拶、引き続いてご来賓の経済産業省北海道産業保安監督部長の伊藤正義様からご祝辞をいただき、北海道電力(株)代表取締役副社長の恩村裕之様のご発声で乾杯・祝宴となった。



ソーラン大賞に輝いた「夢想漣えさし」(会長は枝幸町の石岡電気工業(株)代表取締役)による迫力ある演舞が披露され会場内は熱気に溢れ最高潮に達しました。



懇親会の終盤において、恒例により次期開催地への会員大会旗の伝達式があり開催地である大房支部長から次期開催地の小畑中国支部長へ会旗が手渡された。

大会旗を手にした小畑支部長から「平成28年10月20日(木)岡山市のホテルグランヴィア岡山で会員大会を開催、翌21日(金)には見学会、ゴルフ大会を予定している。

岡山は「晴れの国」として気候は温暖で良い所です。是非とも会員多数の参加を心よりお待ちしております」と挨拶をされた。

そして宴もたけなわの中、中野副支部長の閉会の挨拶で盛会裏のうちに懇親会が終了した。



第一部のアトラクションとして「札幌ウポポ保存会」による独特な唄と掛け声に合わせて、膝と手拍子でリズムを取りながら踊るアイヌ古式舞踏(国の重要無形文化財)が披露された。

また第二部のアトラクションとして昨年3度目のYOSAKOIソーラン大賞にまた今年、準YOSAKOI



伊藤部長 (ご祝辞)



恩村副社長 (乾杯)

基調報告概要



建設工事の施工におきまして、安全管理、品質管理の確保はもっとも基本的な責務ではありますが、これらを全うするためには、施工内容に応じた適切な工期設定が必要になります。

しかし工期の終盤を担っている設備工事は、行程遅れのしわ寄せをもろに受けてしまうことから、休日出勤や超過勤務など、多大な負担を強いられているのが実情です。

工程の遅れの主な要因は①建築工事が当初のマスター工程から遅れた。②施主による追加変更指示があったため工程が遅れた。③設備工事の着手時期になっても、設計内容が確定されずに施工図が作成できないなどということがあります。

いずれにいたしましても、設備工事会社側の問題で工程が遅れたわけではないにもかかわらず、竣工の厳守は求められています。

次に、現場管理の側面からは設計図書の作成や変更、他業種との調整、追加見積りなどの作成変更など、設計図書の不備や設計変更によって生じた作業が挙げられます。

また業務負担となっている設計図書の実態は設計図と工事現場の状況が異なっていたり、設計図書には示されなかった施工条件が実際行なう工事と一致していないなど、設計図書では想定できなかったことがしばしば起こっております。会員企業の多くが「設計図書は疑ってかかれ」と胸中にあるのではないのでしょうか。会員企業を対象にい

たしましたアンケートでは、新築工事はもとより、民間の改修工事において多く発生しております。

この設計図書の不備の発生源は、設計業務の上流、つまり、設備工事会社に関われない基本設計、基本計画の初期段階で発生しそれが工期の終盤を担う設備会社にしわ寄せとなって押し寄せてきます。設計変更の指示や設計図書の不備が工程の下流で見つかれば見つかるほど、コストと時間がかかってまいります。

以上のことなどから設計図書の不備に対する改善が重要となります。

改善策

- ・施主・設計事務所に設計図書の精度向上を要望する。
- ・設備工事会社が最低限必要な設計図書項目をチェックリストで確認する。
- ・設計事務所の設計図書に盛り込んでいただきたい要望項目を提言する。
- ・BIMを活用して設計図書の問題点を早期に解決するフロントローディングを活用する。

以上の改善策は目的を共有する日本空調衛生工事業協会や建築設備技術者協会など設備工事団体と連携して進めて行くことが重要。

最後に昨年の6月に、公共工事の品質確保の促進に関する法律、いわゆる品確法が改正されました。この改正は対象案件の品質確保にとどまらず、将来の品質確保にまで目を向けたのが特徴です。

そのために不可欠な取り組みとして、担い手の育成、確保を前面に打ち出しております。また、発注者の責務として、予定価格の適正な設定、適正な工期設定、適正な設計変更が明示され、今年1月の発注関係事務の運用に関する指針においては、設計図書における施工条件の明示と、適切な設計図の変更と、設備工事の分離発注の活用が明確化されました。これらは、設備業会が抱える諸問題の解決に大きく寄与するものであり、これを拠り所に活動を展開してまいりたいと思います。

平成27年度 会員大会 ～ 基調報告 ～



世界初！雪を味方につける
両面発電メガソーラー



※平成26年度北国省エネ・新エネ大賞受賞

(北海道経済産業局長表彰)

- ・ 発電所名称 旭川北都ソーラー発電所
- ・ 所在地 旭川市神居町台場183
- ・ 敷地面積 35,140m²
- ・ 発電出力 1,250kW
- ・ 太陽光パネル 5,320枚 (両面発電型)
- ・ 想定年間発電量 147万kWh
- ・ 発電開始日 平成25年11月29日



- ・ 発電所名称 旭川倉沼ソーラー発電所
- ・ 所在地 旭川市東旭川町倉沼6-5
- ・ 敷地面積 6,021m²
- ・ 発電出力 250kW
- ・ 太陽光パネル 1,064枚 (両面発電型)
- ・ 想定年間発電量 30万kWh
- ・ 発電開始日 平成25年9月30日

詳細は会報誌2015.1月発行の冬号No168も参照下さい！

記念講演会概要

『いつまでも挑戦する心と体』
～80歳エベレスト登頂～

講師 三浦 雄一郎 氏
プロスキーヤー



平成27年度日本電設工業会会員大会の記念講演会は、プロスキーヤーの三浦雄一郎氏をお迎えし約1時間の講演をしていただきました。

世界最高年齢(80歳)での世界最高峰エベレスト登頂は苦難の道でしたが、これを支えた原動力は飽くなき「好奇心」と夢を追い続ける心でした。

「生きがい」を持つことによって体も若返ることができる。老いは避けられないものではありますが、人生と向き合い「目標」を持ち、元気に明るく過ごすことで体は無敵大の力を発揮できる。

最後に家族と人の絆の大切さ、そして新たな挑戦(目標)について語っていただきました。

ありがとうございました。



会員大会決議

アクションプランを推進し「夢と生きがいのある電設業会」を目指そう！

目標1「優秀な人材の確保と技術・技能の継承」

- ① 登録基幹技能者の処遇改善の具体化と有効活用及び適正評価の推進
- ② 社会保険加入促進による技能労働者の労働環境の改善
- ③ 中小会員企業が実施する人材確保・育成の取組に対する支援
- ④ 支部、都道府県協会が取組む人材確保・育成事業の支援
- ⑤ 学生の職業選択基準の把握

目標2「適正な価格・適正な工期での受注の確保」

- ⑥ 適正な受電時期の設定
- ⑦ 設計図書の精度向上

目標3「分離発注の推進」

- ⑧ 分離発注の浸透に向けた提案力の強化

目標4「省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用」

- ⑨ 新たなビジネスモデルの方向性の提案

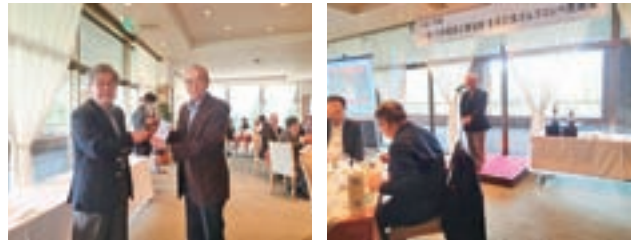
以上4つの目標の達成に向け「戦略的広報活動・関係団体等との連携強化」を図る

- ① 協会活動の広報力の向上
⇒ホームページ、メールマガジン等
- ② 調査研究成果の会員への還元
⇒ホームページ会員専用サイトを通じて還元
- ③ 先進的な好事例の普及・浸透
⇒ホームページ会員専用サイト等から発信
- ④ 本部、支部及び都道府県協会の連携強化
⇒関係機関との意見交換成果の「見える可」・情報共有など
- ⑤ 会員の声の事業活動への反映
- ⑥ 防災・減災への対応
- ⑦ 関係団体との連携強化
諸課題解決に向けた関係機関への働きかけ・要請活動
- ⑧ 公正かつ適正な事業活動の推進

スナップ写真



見学会・ゴルフ大会受付の様子



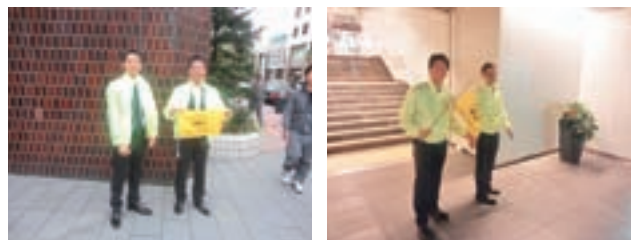
ゴルフ大会 表彰式と懇親会の様子



基調講演（左）と会員大会決議（右）の様子



会員大会受付準備の様子



案内誘導をする皆さん

みて☆きいて☆ふれて(体験して)!

「建設産業ふれあい展」

平成28年 1月15日(金)～17日(日)

記

北海道が今年度初めて主催し、広く道民に建設産業を理解させるとともに、身近に感じてもらうことで担い手の確保につなげることを目的として開催される「建設産業ふれあい展」に、(社)北海道電業協会も出展することとしました。北海道の開催目的に賛同し、電気設備業の理解を深め、電気技術者・電気工事士などの将来の担い手確保につなげることを目標としての出展です。

当協会ではブースにて「身近な材料で電池づくり」と名付け、小学生などのお子さんに身近に電気の原理などを感じてもらい、興味を持っていただけるような、果物電池やエジソンの竹フィラメント電球の実験を体験できるコーナーを行います。大房会長のアイデアをもとに技術安全委員会で作成したものです。また、その実験過程を(株)三新のご好意でDVD化したものも、放映しています。

なお、別途北3条交差点広場(西)マルチビジョンのPRコーナーでは新入社員教育などに活用されている、DVD「明日への挑戦」も放映いたします。

詳細は右記のとおりです。当協会の役員・各委員会の委員なども待機しております。是非、お子様・お孫さんと一緒にご来場ください。

札幌駅前地下歩行空間ブース位置図



札幌駅 ← → 大通

1. 開催時期 平成28年 1月15日(金)～17日(日)
10時から15時 (15日は13時半～)
2. 開催場所
体験コーナー 札幌駅前地下広場 (図の④)
札幌駅を背に左側
PRコーナー 札幌駅前地下広場北3条交差点広場 (図の⑨)
3. 実証実験の内容など
 - ①果物電池
水分の多い果物、今回はグレープフルーツに、亜鉛板、銅板2枚を差し込み、電気を発生させ、豆電球を発光させる。
 - ②エジソン電球
竹フィラメント、具体的には鉛筆の芯に電気を通し、発光させる。エジソンが、京都の竹を使い、長寿命の白熱電球を作成した故事に習いました。
 - ③実験の対象者 小学4年生以上、中学生
 - ④実験の時間帯 11時と13時30分の2回
(15日は13時30分だけ)
 - ⑤参加者数 先着順で一回4名





流氷と大地の恵みを活かし 人が輝き躍動するまち ～紋別市～

紋別市長 宮川 良一



紋別の街並みと流氷

■まちの概要

紋別市は、北海道のオホーツク海沿岸のほぼ中央に位置し、一帯の土地は内陸へ徐々に高さを増し、西部は南北に連なる北見山地に、南部は東西に起伏する千島山系に囲まれています。農耕地は天塩岳にその源を発する渚滑川流域より南東シブノツナイ川流域におよび、酪農・畑作が中心となっています。

弁天岬から弓状に伸びる海岸線は風波を避ける天然の良港で、オホーツク海屈指の港まちです。総面積は830.70km²、人口は約2万3千人で、気候は冷涼で特に冬期は流氷の到来もあって寒冷になります。

■まちの歴史

昭和29年7月1日紋別町・渚滑村・上渚滑村の1町2村の合併により、漁業・農業・鉱業を基幹産業とする「紋別市」が誕生しました。

昭和48年、東洋一の産金量を誇った鴻之舞金山が閉山しましたが昭和50年には紋別港が重要港湾に指定され、国際貿易港としての整備が進み、近年はロシアサハリン州からの活カニ輸入日本一を誇るなど商港としても定着しています。また、平成11年には新オホーツク紋別空港が開港し、現在、東京直行便が1往復就航しています。

■観光・イベント

道北最大のスケールを誇る花火大会が夏の夜空を彩る「もんべつ観光港まつり」をはじめ、秋には紋別を代表するカニやホタテなどの海産物、揚げたてのかまぼこなどの水産加工品、地場産の農作物など幅広い旬の食材を、買ったその場（無料バーベキューコーナー）で食べることのできる「もんべつグルメまつり」、冬は厳冬期に行われる最大のイベント「もんべつ流氷まつり」や流氷砕氷船「ガリンコ号Ⅱ」の運航など雄大な自然を身体で感じる体験観光が魅力です。



流氷砕氷船「ガリンコ号Ⅱ」

■オホーツク流氷公園

オホーツク流氷公園は平成21年11月に、屋内大型木製遊具を設置した「あおぞら交流館」のオープンで開園し、その後、屋外遊具施設とピクニック

ク広場、ラベンダー畑、パークゴルフ場などが次々と造成され、平成26年7月にオホーツク海の広大な風景を間近に望むことができる「海のサロン」の供用開始で全面開園に至りました。

子どもを連れて屋内外の施設で遊ぶことができ、爽やかな潮風を感じながらパークゴルフができることが好評で、地元市民や観光客など多くの方々に利用いただいています。



まきばの広場パークゴルフ場

■オホーツク流水科学センター

オホーツク流水科学センターは、道の駅にもなっており、一年中本物の流水が見られる科学館です。流水のある -20°C の厳寒体験室では、「凍るおしぼり」「凍るシャボン玉」そして、北海道唯一の「流水水族館」があります。

また、流水の使者クリオネが大量にいる水槽「クリオネハウス」は圧巻です！ぜひ一度ご体験ください。



大量のクリオネが泳ぐ「クリオネハウス」

■オホーツクタワー

オホーツクタワーは、世界で唯一海中観測窓か

ら流水下の海中の様子を見ることが出来る流水と海の生き物の自然体験・観測施設です。深さ7.5mの海底階では、クリオネ、フウセンウオ、オオカミウオなどオホーツク海の珍しい魚を展示しており、夏期の夜間営業では海中照明に集まる自然の魚が観察できます。



オホーツクタワー内部

■とっかりセンター

野生のアザラシを保護し、自然復帰へのトレーニングなどを行う施設です。1日5回のフィーディングタイムでは、かわいい芸がご覧になれるほか、アザラシに触れることもできます。



フィーディングタイムの様子



北海道新幹線・新函館北斗駅から 未来の北斗市づくりを ～北斗市～

北斗市長 高谷 寿峰



開業日を待つ北海道新幹線の玄関口「新函館北斗駅」

■まちの概要

北斗市は平成18年2月1日、旧上磯町と旧大野町が合併し、道内35番目の市として誕生しました。渡島半島の中で津軽海峡に面する南に位置し、人口は47,621人（H27.10.31住民基本台帳人口）を数えています。

■北海道新幹線の玄関口として

平成17年4月、道民の悲願が実り、北海道新幹線新青森・新函館北斗間の着工認可が下りました。北海道の始発駅は、市内の渡島大野駅が「新函館北斗駅」に生まれ変わることになり、市では新たな交通拠点にふさわしいまちづくりを目指し、土地区画整理事業（市施行）による新駅周辺地区の開発とともに、駅附帯施設や立体駐車場などの公共施設の整備に取り組んできました。

いずれの整備も計画どおりに進めることができ、新駅附帯施設の観光案内所や立体駐車場は開業日には供用開始をいたします。

■新函館北斗駅周辺の賑わいづくり

土地区画整理事業で造成した宅地のうち5.2haは、新函館北斗駅前の賑わいを創出しようと、民間商業施設などの誘致に取り組んできました。立地に前向きな企業さんがなかなか現れず、きびし

い時期もありましたが、昨年から立地協議が進み、現在で、レンタカー7社、タクシー1社、レストラン1社、ホテル1社の立地が決定しています。

いま道南地域では新幹線開業効果を活かすべく、官民挙げて様々な取り組みが検討されています。二次交通サービスの充実をはじめ、公共も交流人口の拡大策に積極的に取り組んでいる訳ですから、新函館北斗駅は多くの人が集う拠点となり、民間企業のビジネスチャンスも広がるはずで、新函館北斗駅前の企業誘致はこれからも手を緩めることなく、投資を積極的に呼びかけていきます。

■北斗市の観光振興をスタート



ライトアップされた法亀寺のしだれ桜

旧両町時代から観光施策にはあまり積極的に取り組んでこなかったというのが正直です。旧両町とも昭和の高度経済成長や平成のバブル景気の影響で、函館市のベットタウンとして住宅開発が進み、人口が急増した時代があり、行政としては学校や道路、下水道といった生活基盤の整備を最優先課題として進めてきたからです。

しかし、「新幹線開業効果を持続させなければならない」この思いで、私が市長になってから「観光振興プラン」をつくり、平成24年から具体的な取り組みに着手してきました。

よくみれば、北斗市にも人を感動させる資源がたくさんあるのです。まず、これらを磨き上げれば、北斗市にも人がたくさん来て消費をしてくれるだろう、そして、道南全体の魅力も高まるだろうと考え、取り組みを始めました。

樹齢300年といわれる法亀寺のしだれ桜や戸切地陣屋・桜のトンネルをライトアップする「北斗桜回廊」はツアー商品も数々つくられ、2週間で10万人が訪れるようになりました。また、津軽海峡・大野平野から大沼・駒ヶ岳までの眺望が見渡せる「きじひき高原」では、昨年度、屋外展望施設を建設したところ、多くの方にお越しいただいています。



きじひき高原展望台からのパノラマ眺望

■他分野の交流人口拡大で活性化を

観光振興は北斗市の「商品づくり」です。これをしっかり売り込んで北斗市の知名度を高めていく必要もあります。当市のご当地キャラ「ずーしーほっきー」は公立ほこだて未来大の学生さんたちのアイデアと市民の参加によって2年前に



北斗市のご当地キャラ「ずーしーほっきー」

誕生し、今では有効な宣伝媒体としてフル活動しています。特にネットの世界では特異さが評判を呼び、北斗市の知名度アップに一役買っています。

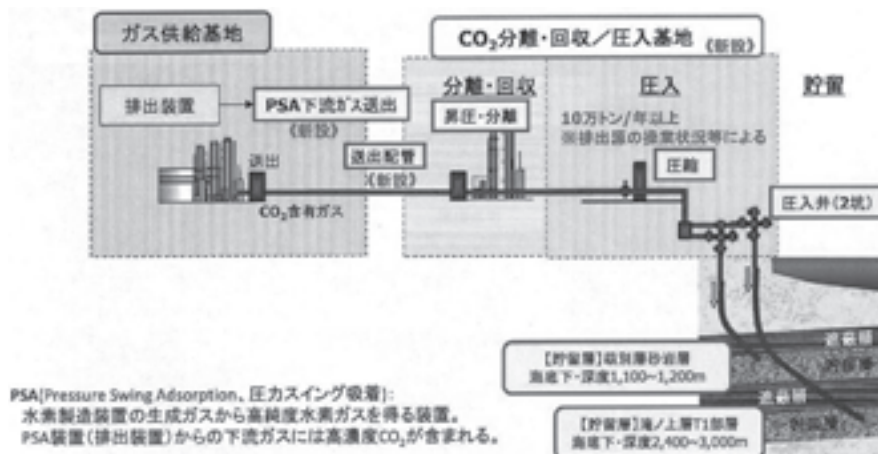
少子高齢化で北斗市も人口減少時代を迎えます。北海道新幹線の開業効果を観光だけでなく、今後は一層市民参加を広げ、一次産業やスポーツなど幅広い分野で交流人口の拡大を図ることが課題です。また、移住促進にも新幹線開業効果を活かすよう、本格的に取り組んでいきたいと考えています。

北斗市の魅力を再発見し、これを磨き、そしてしっかりと売り込み、結果につなげる。

チャンスを逃さず、未来の北斗市づくりを前進させていきます。

電気設備施設見学会

商業運転中の製油所の水素製造装置を排出源として、CO₂を分離・回収・圧入に必要な圧力まで昇圧（最大23 MPa）し、10万t/年以上のCO₂を苫小牧沖の2つの貯留層に圧入する



平成27年9月15日(火)会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、毎年実施している見学会を今回は当協会と(一社)電気設備学会北海道支部と共同で開催した。

今回の見学場所は苫小牧市の「苫小牧CCS実証試験プラント建設現場（日本CCS調査株）です。

当日は参加者28名が札幌駅北口に10時20分までに集合し貸切バスで出発。途中、苫小牧市内で昼食休憩を挟みながら建設事務所に到着した。

同施設は経済産業省が2020年以降のCCS実用化に向け2011年12月に実証試験地として苫小牧市を選定し我が国初となる「二酸化炭素削減技術実証実験事業」を行うため、公募により委託先となった日本CCS調査株が現在建設を進めている陸上プラント施設である

見学に先立ち、日本CCS調査株苫小牧事務所の田澤誠司所長より施設全体の説明、引き続き坂田要一同所電気主任者から電気設備概要説明を受けた後、ほぼ完成している「分離・回収・圧入設備」の施設を見学した。

今後の予定として、10月に設備が完成、平成28年1月より試運転と暖気運転、平成28年4月に二酸化炭素地下圧入開始予定で、その後3年間圧入継続とモニタリング期間の予定である。

見学途中、説明者に質問等が多数あり参加者が

この実証実験事業に対する関心の高さを感じる有意義な見学となった。

CCSとは

Carbo dioxide Capture Storageの略で、二酸化炭素(CO₂)の回収、貯留を意味しています。人類は豊かな生活を築くために、長年にわたって地中深くに埋まっていた石油、石炭等の化石燃料を取り出して消費してきました。化石燃料を使用するとCO₂が発生し、その結果、大気中のCO₂、これが地球温暖化の原因の一つと言われています。

CCSは工場や発電所などから発生するCO₂を大気放散する前に回収し、地中貯留に適した地層まで運び、長期にわたり安定的に貯留する技術です。CO₂の早期大規模削減が期待できる地球温暖化対策の切り札なのです。

CO₂を貯留する場所は、地表から1,000m以上の深さにある一層の貯留層（帯留層等と呼ばれる）です。

CO₂が漏れ出すことのないよう、上部を遮へい層と呼ばれるCO₂を通さない泥岩などの層で覆われていることが必要です。



～シリーズ～ 「私のいちおし」

株式会社 関電工

北海道支社長 太刀川 雅弘



今回は私のお勧めのお店を紹介いたします。

私は平成25年、札幌に赴任しましたが、北海道の食べ物は本当においしいものが沢山あってつい食べ過ぎてしまい、体重が増加傾向で困っております。

北海道の食といえば新鮮な魚介類が代名詞のようなもの。ならばおいしい寿司屋を見つけようと自分の足で見つけたのがこのお店「鮪 無双」です。

札幌にはたくさんの有名な寿司屋は数多くありますが、北海道らしいネタを出すお店がないものかと探しておりました。



右側の握りはきんき（一本釣りで針付き）奥は大ボタンエビ

このお店はなんといっても店主の小林さんの魚に対するこだわりがすごい。店主は「蝦夷前寿司」と言っているほど北海道のうまい魚にこだわっており、漁師から直接仕入れているものも結

構あるとのこと。

「寿司は旬を握る季節料理だから今この時期しか食べられない最高なものを味わってもらいたい」と、魚が大好きという店主に魚のことをしゃべらせたら話が止まりません。



函館の天然6年物のはまぐり、ヒラメの神経絞め

北海道らしい戸井の鮪や鶴川のししゃも、函館のはまぐり、厚岸のかき、産地やネタは季節でめまぐるしく変わりますが、店主に任せておけば今まで経験したことのない衝撃的な美味しさに出会えますよ。その味は折り紙付きで保証します。はらはらと口の中にほどけていくシャリとネタを完璧なバランスで鮮やかな手さばきで寿司を握る姿はお客様に美味しいものを食べてもらいたいとの思いが詰まっています。また、旬な魚にピッタリな旬な日本酒もまたこだわりがあり、揃っていますよ。

お店の中はカウンター10席、奥に2卓10人が座れる掘りこたつ式の小上りもあります。



私と店主の小林さん

場所は地下鉄東西線円山公園駅から徒歩3分の閑静な所にあります。平均予算は8000円から。

最近では遠く道外からも訪問されるお客さんも多いので予約したほうが確実です。

【店名】「鮪 無双」

【住所】札幌市中央区大通西23丁目2-8 グリーンマンション熊谷1F 【電話】011-616-0011

【営業時間】17:30~23:00 不定休 Pなし

現場からこんにちは



工事名称：公営住宅（下野幌団地建替H-3号棟）
新築電気設備工事

発注者：札幌市都市局建築部電気設備課

請負者：株式会社 でんこう

工事場所：札幌市厚別区厚別中央1条5丁目493-11

工期：平成25年9月30日～平成27年10月30日

【工事内容】

鉄筋コンクリート造 地上14階建 延床面積
13,349.06㎡

1LDK-28戸 2LDK-81戸 3LDK-26戸

車椅子対応1LDK-3戸 車椅子対応2LDK-2戸

合計140戸

【工事種別】

幹線設備・共用電灯設備・自動火災報知設備

テレビ共聴設備

住戸設備・電話設備・監視設備・緊急通報設備

防火戸設備

雷保護設備・屋外照明設備

【設備負荷容量】

電灯 1φ3W200/100 84kVA～5系統 32.5kVA～
1系統

動力 3φ3W200 33.4kW～1系統

今回取材をさせて頂きましたのは、札幌市公営住宅（下野幌団地建替H-3号棟）新築電気設備工事の現場です。この度は、当該現場の現場代理人兼監理技術者である株式会社でんこうの石崎忍様にお話を伺いました。

当施設は、札幌市に於ける住宅市街地整備計画の重点整備地区に指定され都心部から南東約11Kmに位置し、広域交流拠点である厚別副都心の一部を形成する立地で、昭和42年から昭和47年にかけて約3,273戸が建設された市営住宅団地地区です。

また同団地は、隣接する厚別区役所をはじめ青少年科学館などの公共、公益施設や大規模商業施設が立地しているほか、地下鉄新さっぽろ駅やJR新札幌駅もある交通結節点でもあり、札幌市において重要な都市拠点地区の一つでもあります。

この地区における既存の下野幌団地は、築後概ね40年が経過して老朽化が進行しており、建て替えが必要とされました。

下野幌団地は、札幌市の再生マスタープランにおいて「再生団地」に位置付けられ、平成9年度に建替え事業の基礎となる基本構想・基本計画を策定し、平成12年度からは公営住宅整備事業により住環境整備に取り組み、住民生活の安心・安全を確保する目的のため、住宅市街地整備事業により住環境の改善が図られました。



車椅子対応の室内

今回の公営住宅下野幌団地H-3号棟は、平成23年度から着工したH-1号棟に続き3棟目の建物で、下野幌団地Hブロックでの最終形となります。同一敷地内には、新さっぽろ集会所並びに児童遊園施設が整備され、都市住居型誘導住居水準を目安とした住戸面積の確保と高齢者や障がい者（車椅子での移動を余儀なくされる方）のいる世帯等様々な世帯構成に対応した住宅を供給する事で、多様な生活環境の推進整備が行われました。

最後になりますが、このたび竣工検査間際の大変多忙な時期にも関わらず、取材のご協力に快く対応して頂き大変感謝しております。本当にありがとうございました。

取材 広報委員 木村 賢史・鈴木 高典



株式会社 でんこう 現場代理人兼監理技術者：石崎 様
担当技術者：山本 様（右）

分離発注促進活動訪問記



(左) 北海道電業協会の三上氏 (北電力設備工事株)

(右) 村上建設部長 (北広島市)

今年も分離発注についての御礼とお願いに赴いて参りました。

分離発注促進活動は北海道だけではなく、日本電設工業協会でも全国において展開している重要な活動になります。

この活動は北海道電業協会では経営委員会が担当しています。当委員会は拓北電業の鈴木社長を委員長として12名にて構成されており、訪問活動は委員5名及び地区協会の方々の協力を頂いて活動しています。その中で私は(株)関電工の塚田さんと札幌市を除く石狩振興局管内の5市1町1村を担当しています。

訪問活動については毎年継続して行ってきましたので、各市町村の方も覚えていてくれる方が多く、「今年も又、参りました」という雰囲気です。相手先の方も快く受けて下さるので非常に心強く感じます。

反対に、人事異動等で初対面の場合などは、相手の方も「何だろう？」って感じになるのですが、経緯を知っている周りの方のサポートを頂きスムーズに対応させてもらう事ができ非常に助かります。

今回も石狩市、当別町、新篠津村、江別市と訪

問し午後一番に北広島市を訪問しました。北広島市では建設部の村上清志部長にお会いし、分離発注の御礼と今後の継続をお願いしました。また、北広島市では平成29年4月末の完成予定で新庁舎の建設工事が始まっていました。その後、恵庭市、千歳市と午後の訪問も順調に進み、最終の千歳市を3時頃に終了しました。

今回も皆様の協力を得て無事に終える事ができました。

この活動は今後も継続して行うことが非常に大切であると考えています。

なお、北海道内昨年度の分離発注の状況については、全道179市町村の内173市町村が分離発注を行っており全国的にも分離発注の割合が高いものとなっています。

そして、今回訪問しました石狩振興局管内の7市町村は以前より分離発注を行ってきており、今後も分離発注を継続するとの返答を頂いております。

最後にお忙しい中、ご対応いただきました各市町村の皆様へ改めて「ありがとうございました。」

北海道電業協会 経営委員会 三上 哲也

(北電力設備工事株 執行役員営業部部長)

厚生委員会行事報告



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には常日頃から歌唱部会の活動に多大なるご理解とご協力を賜っておりますことを心から厚く御礼申し上げます。月日が経つのも早いものであつというまに2016年を迎える事となりました。

さて、歌唱部会は年4回の会合を行っております。昨年は5月29日(金)、8月28日(金)、11月27日(金)、の3回開催しております。いずれの会も20人以上が参加し、店内のボックス席やカウンター席はすぐに埋まり、カウンターの中にも毎回数人が立つほど盛況で行っております。今年度の4回目は2月26日(金)参加費3,000円で予定しており、当日はオードブルなど軽食と、もちろん美味しいお酒もあります。



また、演歌やポップスなどのそれぞれの持ち歌を唄い、そしてお酒を酌み交わしながらのコミュニケーションは会員相互の親交を深める場とともにストレス発散にうってつけの場所だと思っております。

まだ参加されたことがない方、また歌が苦手の方もお話だけでもかまいませんので是非、一度参加して見てはいかがでしょうか。とても楽しいですよ。



28年度も会員の皆様と、より一層楽しい歌唱部会が開催できるように今後とも会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

歌唱部会幹事 池内 宏行
(北明電気工業株)

ボウリング部会



第3回大会 スタート前

10月23日(金)に平成27年度第三回目のボウリング部会がノルベサにて行なわれました。参加人数は21名。皆様御多忙の中、御参加ありがとうございました。

優勝者は(株)北弘電社の内川さん。安定した投球術で毎回上位に入る実力ですが、今大会での優勝は初めてとの事。見事栄冠を勝ち取りました。

準優勝は三共電気工業(株)の小林さん。久々の参加でありながらボウリング世代の技の冴えを披露してくれました。

その後、いつもの北海しゃぶしゃぶさんで懇親会が開かれました。会場が笑いと活気で包まれ、大変楽しい時間を過ごす事が出来ました。

同業者間で顔を合わせる機会が少なくなっている昨今、この様な親睦の場は大変貴重でありコミュニケーションを深め電気設備工事業界の発展に繋がると考えております。

皆様ご多忙とは存じますが、運動不足の解消やストレス発散も兼ねて是非来年度も御参加下さいますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

ボウリング部会長
藤井 大樹 (株)でんこう)

平成27年度第3回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成27年10月23日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンド	トータル	会社名
優	内川 勝哉	153	162	22	359	(株)北弘電社
準	小林 勇治	176	140	21	358	三共電気工業(株)
1	鈴木 雅博	199	137	10	356	振興電気(株)
2	三好 裕一	156	171	5	337	札幌機電工業所(株)
3	森崎 亨一	120	182	13	328	北盛電設(株)
4	十日市 樹	133	165	15	328	(株)北弘電社
5	三上 哲哉	134	139	22	317	北電力設備工事(株)
6	尾崎 健太	132	125	30	317	拓北電業(株)
7	本間 美則	147	138	13	311	拓北電業(株)
8	深谷 耕二	135	140	16	307	(株)ユアテック
9	吉岡 秀雄	121	126	30	307	弘和電気(株)
10	嶋田 幸規	133	133	13	292	(株)北弘電社
11	友重 陽介	132	139	7	285	(株)北弘電社
(ハイゲーム賞) 199ピン 鈴木 雅博						振興電気(株)
(大波賞) 32ピン 十日市 樹						(株)北弘電社
(平和賞) 0ピン 嶋田 幸規						(株)北弘電社
(ブービー賞) 福田 哲也						大成電気(株)
(ブービーメーカー賞) 新名 久弥						(株)ドウデン



(右) 第3回優勝者 内川さん

ゴルフ部会



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には常日頃よりゴルフ部会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

一昨年からゴルフ部会の幹事を拝命し、暁部会長を始め諸先輩方のご指導の下、部会運営をいたしております。

特に昨年は、日本電設工業協会会員大会が北海道で行われ、札幌国際カントリークラブ島松コースにおいてゴルフ大会が開催されました。日本全国、南は沖縄からも来道され、総勢97名の参加をいただきました。心配された天気も大会開催には影響なく、強い風と、寒さ、粘り付く芝に北海道の自然を感じていただき、リベンジを誓いながら帰路につかれた御姿から、大会の成功を感じ取った次第です。



第1回優勝の住本さん

(参加者30名)で住本さん(道タツヲ電気)の優勝で幕開けし、第2回例会の札幌芙蓉CC(参加者31名)で木村さん(道タツヲ電気)の優勝、第3回例会は札幌エルムCC(参加者32名)で佐久間さん(北明電気)がグロス74を叩き出し優勝、第4回例会は札幌南GCでわたし吉田が念願の優勝を果たしました。大会日程を全て消化し、事故や怪我無く無事に電業協会ツアートーナメントを終えられた事に際し

当部会幹事とはもとより、大会運営に際しご尽力いただきました沢山の皆様に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は第1回例会の札幌国際CC

ウンドをした際に、ゴルフは体幹で行うスポーツで、常に軸を意識する事と、寄せでは一番大きな筋肉を動かすことを教わりました。ピンが近づくにつれ気持ちが前のめりになり、頭が早く上がって軸がぶれたり、小手先でスイングを調整してザックリしてみたりといった失敗を見るに見かねてのアドバイスでした。



第2回優勝の木村さん

まして、感謝申し上げます。

冬期間に入り、北海道ではゴルフのオフシーズンですが、雪解けが待ち遠しく感じておられる方も、南の島までゴルフをするためにお出掛けになる方もいらっしゃるかもしれません。昨年、片手シングルといわれる方とラ

ゴルフは老若男女を問わず、一緒にプレーできる数少ないスポーツであると思います。普段、会話をする機会のない方とでも、プレーの合間には自然と会話が生まれます。ゴルフが取り持つコミュニケーションを楽しみながら、和気あいあいとご参加いただける会に

していきたいと願っております。

今年もゴルフ部会の活動にご理解とご協力を賜りますとともに、多くの方々のご参加をお待ちいたしております。本年もよろしくごお願い申し上げます。

ゴルフ部会幹事 吉田 岳夫(北海電気工事(株))



第3回優勝の佐久間さん



第4回優勝の私



会社対抗ソフトボール大会

栄光のV9を目指して～(株)北弘電社チーム



（株）北弘電社V8を達成した選手たち！

平成27年7月23日(木)「つど～む」で開催されました(一社)北海道電業協会会社対抗ソフトボール大会は5チーム参加でありましたが、巨人の黄金時代を彷彿とさせる強さ？で我が北弘軍が8連覇を達成しました。

試合はというと2試合とも序盤で大量失点し苦しい展開でしたが、そこは7連覇中のチームの底力でひっくり返し打ち勝つことができました。

私自身は肩の故障(四十肩)と調整不足(太りすぎ)により3年リハビリに費やし、出場は3年ぶりで期待されていないかったものの、期待されていない分伸び伸びプレーすることができ2試合で1走本塁打を含む5安打5打点の予想外の活躍により優勝に貢献することができました。

しかし勝利に貢献できたことは大変嬉しいこと

なのですが、我が北弘軍は味方からのエラーや凡退に対してのヤジやブーイング、そして結果を出せなければ即戦力外というプレッシャーの中でプレーをしないといけないため、今回はたまたま勝利に貢献できましたが、来年以降、またあのプレッシャーの中で出場するのかなと思うと嬉しいのか悲しいのか複雑な気持ちでもあります。

少し愚痴も入りましたが、今大会はケガ明けと調整不足で満身創痍での戦いでしたが、応援に来てくださった方々の声援のおかげもありケガすることなく無事優勝することができ、来年はONを要した巨人の栄光のV9にならぶ9連覇を目指し、身体の調整と仕事に打ち込んでいきたいと思っています。

(株)北弘電社：梅原 秀貴記

業界だより

【法人職務執行者の変更】

(平成27年10月1日付)

- 日本電設工業(株)北海道支店
- | | |
|-------------|-------|
| (新) 執行役員支店長 | 大東 勝広 |
| (旧) 執行役員支店長 | 野本 徳明 |

【退会のお知らせ】

(平成27年9月30日付)

- (株)つうけん

【所在地・連絡先の変更】

(平成27年9月14日付)

- 末廣屋電機(株)
- (新) 札幌市白石区菊水2条1丁目4-20
TEL 011-832-5000 FAX 011-832-5007
- (旧) 札幌市厚別区大谷地東2丁目4-30
- (株)トーエネック
- (新) 札幌市中央区北1条西13丁目4番地
タケダ札幌ビル5F
TEL 011-200-9144 FAX 011-200-9611
- (旧) 札幌市中央区北4条西17丁目1

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成27年10月27日(火) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 平成28年度 電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)について
2. 会員代表者変更に伴う後任役員候補者の選任について
3. 定款第21条第5項の規定に基づく報告(職務の執行状況)について
4. 平成27年度経営者懇談会の運営について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 本部262回政策委員会の概要報告について
2. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換の概要報告について
3. 平成28年度 電気賀詞交歓会について
4. 平成27年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催結果について
5. 会員の退会について
6. 企業会員の代表者変更について

7. 平成27年11~12月行事予定について
8. その他意見交換会
以上概要を報告(小川専務理事)

◇平成27年12月3日(木) 16:30~17:30

第5回議題

【協議事項】

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. (-社)北海道電業協会 中間経理報告(平成27年度上期決算)について
3. 平成27年度 会員大会決算報告について
4. 北海道建設部と設備工事業4団体との意見交換会について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 平成27年度 実技講習会の開催結果について
2. 平成27年度 経営者懇談会・セミナーの開催結果について
3. 「建設産業ふれあい展」への参加について
4. 平成27年12月~平成28年1月行事予定について
5. その他意見交換会

以上概要を報告（小川専務理事）

|| 三 役 会

◇平成27年10月6日(火) 12:00~13:30

第7回議題

1. 平成28年度 電業協会及び電設協道支部役員会等の日程（案）について
2. 会員代表者変更に伴う後任役員候補者の選任対応について
3. 平成27年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催について
4. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換会の開催について
5. 定款第21条第5項の規定に基づく報告（職務の執行状況）について
6. 平成27年度 電気設備施設見学会の開催結果について
7. 「建設産業ふれあい展」への参加について
8. 企業会員の代表者変更について
9. 平成27年10~11月行事予定について
10. その他意見交換会

◇平成27年11月9日(月) 12:00~13:00

第8回議題

1. 平成27年度経営者懇談会について
2. 北海道電業協会平成27年度上期決算報告について
3. 電設協平成27年度 会員大会決算報告について
4. 平成27年11~12月行事予定について
5. その他意見交換会

◇平成27年12月3日(木) 15:30~16:30

第9回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 協会三役による官公庁平成28年新年挨拶について
3. 北海道開発部と設備工事業4団体との意見交換会の開催について

4. 「建設産業ふれあい展」への参加について
5. 平成28年度 電気賀詞交歓会について
6. 平成27年度 会員大会決算報告について
7. 平成27年度 経営者懇談会・セミナーの開催結果について
8. 平成27年12月・平成28年1月の行事予定について
9. その他意見交換

|| 総務委員会

◇平成27年10月20日(火) 12:00~13:30

第2回議題

1. 平成27年度総務委員会の事業実施状況について
2. 経営者懇談会の運営（案）について
3. 開発局営繕部と電気・空衛両協議会との意見交換会の開催について
4. 当協会の事務所移転について
5. 技術系学校の先生との懇談会および生徒との見学会
6. その他意見交換

◇平成27年12月10日(木) 15:30~17:00

第3回議題

1. 定時総会までの事業スケジュールについて
2. 平成27年度中間経理報告について
3. 平成28年度 電気賀詞交歓会について
4. その他意見交換

|| 経営委員会

◇平成27年10月8日(木) 12:00~13:30

第3回議題

1. 第2回議事録の承認について
2. 平成27年度経営者懇談会・セミナーについて
3. 本部262回政策委員会の概要報告について
4. 平成27年度 分離発注要請活動について
5. その他意見交換

◇平成27年12月10日(木) 16:00~17:00

第4回議題

1. 第3回議事録の承認について
2. 本部263・264回政策委員会の概要報告について
3. 平成27年度経営者懇談会・セミナー開催概要について
4. 平成28年度 電気賀詞交歓会について
5. その他意見交換

2. 「建設産業ふれあい展」への参加について

3. 平成27年度安全パトロールについて

4. 平成27年度登録電気工事基幹技能者認定講習会について

5. 実技講習会開催に向けた研修施設の有無及び会員のニーズ調査結果について

6. 平成27年度技術講習会について

7. その他意見交換

広報委員会

◇平成27年10月29日(木) 11:00~14:30

議題

1. 「建設産業ふれあい展」広報について

◇平成27年11月20日(金) 12:00~13:30

議題

1. 「建設産業ふれあい展」参加用DVD・広報パネルについて
2. 新春特集について

◇平成27年12月9日(水) 15:00~17:00

第3回議題

1. 会報「春号」の編集方針(案)について
2. 新春特集について
3. 会報「冬号」の校正について
4. その他意見交換

◇平成27年12月8日(火) 16:00~17:00

第4回議題

1. 実施報告

① 平成27年度登録電気工事基幹技能者認定講習会について

② 平成27年度経営者懇談会開催概要について

③ 実技講習会の開催結果について

2. 「建設産業ふれあい展」への参加について

3. 平成27年度 安全パトロールについて

4. 平成28年度 技術安全衛生基礎教育講習会(新人研修)の開催について

5. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成27年10月19日(月) 12:00~14:00

第3回議題

1. 実施報告

① 平成27年度安全大会の開催概要

② 平成27年度札幌市電気設備施工研修会

③ 技術系学校の先生との懇談会および生徒との見学会

④ 1級実地電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会

⑤ 電気設備施設見学会の実施報告

事務局日誌

- 10月 1日(木)・電設協会員大会
2日(金)・会員大会ゴルフ大会・見学会
6日(火)・第7回三役会議
8日(木)・第3回経営委員会
17日(土)・「公共建築の日」フェスティバル2015
inモエレ
19日(月)・第2回技術安全委員会
20日(火)・第2回総務委員会
23日(金)・基幹技能者認定講習講師打合せ
　　〃　・第3回ボウリング部会（ノルベサ）
24日(土)・基幹技能者認定講習会
25日(日)・　　〃　　（電気会館）
26日(月)・北海道開発局営繕部との意見交換会
　　（北海道設備会館）
　　〃　・第4回理事会・常議員会
28日(水)・北海道建設業審議会　大房会長
　　（かでの27）
29日(木)・広報委員会
11月 9日(月)・第8回三役会議
　　・経営者懇談会・セミナー
　　（札幌グランドホテル）
16日(月)・くだもの電池DVD録画撮り
　　（三新ビデオセンター）
20日(金)・広報委員会
27日(金)・第3回歌唱部会　　（ちゃ茶）
12月 2日(水)・本部基幹技能者認定委員会
　　類家事務局長　　（本部会議室）
3日(木)・第9回三役会議
　　・第5回理事会・常議員会
　　（札幌グランドホテル）
8日(火)・第3回技術安全委員会
9日(水)・第3回広報委員会
10日(木)・第3回総務委員会
　　・第4回経営委員会
11日(金)・北海道赤レンガ建築賞委員会
　　小川専務　　（かでの2・7）
24日(木)・北海道建設部と設備工事業4団体と
　　の意見交換会　　（電気会館）
28日(月)・仕事納め

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本号の発行にあたり、年頭のごあいさつを北海道開発局営繕部長の清水 侯二様をお願いいたしました。公務多忙にもかかわらず、ご寄稿をいただき厚く御礼申し上げますとともに、今後とも当協会に対しまして、様々な面でのご指導をお願いいたします。

さて、今年は丙申（ひのえさる）、どのような一年になるのでありましょか？

今年の「目玉」はなんと申しても、春先、3月26日に、北海道新幹線、新函館北斗駅が開業し、新函館北斗～東京間が約4時間で結ばれることです。

北海道道民にとりまして待ちに待ったこの一瞬となります。更に、札幌迄の延伸にプラス15年を要する計画ですが、何とか乗車する夢を見たいものです。

遡りますが、東海道新幹線が開業してから52年弱、札幌まで70年弱を要する訳ですが、安全安定輸送は勿論のこと、「プラスα」を求めたい！

広報副委員長
小笠原 憲生



発行 平成28年1月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp